



千葉ウエストワイズメンズクラブ 2020年12月 (No.3)

会長 高田一彦
副会長 吉崎 勇
書記 内田久昭
会計 長尾昌男
担当主事 小林和弘

国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク) Values, Extension and Leadership
アジア太平洋会長 David Lua (シンガポール) Make a Difference
東日本区理事 板村哲也 (東京武蔵野) 変化をたのしもう！
関東東部部長 柿沼敬喜 (東京グリーン) 学びと親睦を糧に外へ向かおう！
千葉ウエストクラブ 高田会長主題 ワイズ活動を通じて地域への貢献を
*千葉ウエストクラブ連絡先 日本基督教団船橋教会 273-0865 船橋市夏見6-6-6

☎ 047-494-3586

今月の聖句 新約聖書 マタイによる福音書1章18節
～25節 (ここには21節のみ記します) 「マリアは男の子
を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分
の民を罪から救うからである。」

千葉・千葉ウエスト両ワイズメンズクラブ 12月合同クリスマス例会

(EMCのMとCの月)

日時:12月12日(土)午後2-4時

場所:日本基督教団船橋教会 信徒館

司会 廣田光司君・受付 横井・長尾君

第一部 礼拝

讃美歌 109番(ヒムプレイヤーを聴く)

聖書朗読 古屋朝則君

クリスマスメッセージ 小林信人 船橋教会牧師

讃美歌 112番(ヒムプレイヤーを聴く)

第二部 合同例会

開会点鐘 石丸隆章千葉クラブ会長

ワイズソング・ワイズの信条

ビジター・ゲスト紹介

会長報告・YMCA報告

Happy Birthday

卓話 (レクリエーション) 木塚敏夫氏

ティータイム・ドライバー 倉石 昇君

閉会のことば 鈴木秀信君

閉会点鐘 高田一彦千葉ウエスト会長

会場係 内田久昭・青木一芳君

千葉ウエストクラブ会員の欠席とゲスト同伴届は、
高田会長 ☎ 090-8509-0701 又はメール
takawaizu@f7.dion.ne.jpへご連絡ください。

●第3回拡大EMC委員会 (Zoom会議)

12月2日に首題委員会が約20名の参加で開催され、
Change2022委員会の目標 (830→1,246)達成への現状と
問題点について話し合われた。現在活躍中の甲府21ク
ラブ (41名) と石巻広域クラブ (18名)の紹介があっ
たが、どちらも大きなクラブ目標があることに感銘を
受けた。甲府21クラブは、山梨YMCAを支援することに
小都市としての利点を活かし、石巻広域クラブは、清
水弘一ワイズのもとに2016年5月に東日本大震災復興
支援を軸として、設立され、現在も震災の風化が叫ば
れる中で、復興支援を継続し、8月からはYouTubeにワ
イズと被災地からの情報をアップし続けています。ク
ラブの活性化も、まずは目標をしっかりと定めること
からと痛感しました。(高田)

健康ウォーキングに参加 (長尾昌男君)

2020年11月28日(土)快晴 (9名参加)
千葉ワイズメンズクラブ主催・千葉YMCA会員委員会共催

晩秋の佐倉(歴博・城址公園・武家屋敷)へ

京成佐倉駅10時30分集合し、健康ウォーキングのスタートを
しました。歴博(国立歴史民俗博物館)見学、野外で昼食、く
らしの植物苑、ひよどり坂、武家屋敷を見学し、京成佐倉駅
15時30分に戻りました。(アップダウンもあり1万歩を超えまし
た。)



佐倉 サムライの古径「ひよどり坂」



国立歴史民俗博物館

■11月例会報告 (11月21日船橋教会信徒館)

出席会員：内田、岡田、小林、鈴木、高田、長尾、守安、吉崎

ビジター：青木(一)、石丸(千葉クラブ)

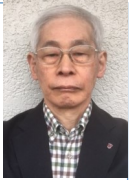
吉崎勇君の司会のもと、高田会長の点鐘で第2回目の千葉ウエストクラブの例会が開始された。ワイズソング、ワイズの信条に続いて、詩篇23編の聖書朗読が鈴木秀信君によって行われた。ビジターは親クラブからの石丸隆章会長と、青木一芳君であった。高田会長より東日本区第2回役員会、関東東部評議会の報告があり、小林和弘Y担当主事からは、コロナ下での千葉少年自然の家の活動報告、冬季スキープログラム、とちぎ、ぐんま、千葉の三つのYMCA共同によるバーチャルチャリティーランの計画が話された。本日の卓話①では、吉崎勇君による「YMCAの今」と題して、「東京YMCA10月号」をテキストにして、SDGsの活動紹介等を通して、ウエストクラブとして何が期待されるか、何が出来るとのヒントが与えられた、卓話②では、長尾昌男君による「自分紹介」(会長の意図で、メンバーをよく知るために今後随時開催予定)があり、質疑応答で盛り上がった。ドライバーの近況報告でも各自がコロナ禍でのエピソード等様々の話で盛り上がった。その他、ワンコインで集めた金額の半額を船橋教会信徒館に使用感謝として船橋教会に献金することの提案が、会長よりあり、承認された(後日、通常例会の献金額は千円に訂正)。青木一芳君より、11月28日開催の健康ウォーキングの案内があり、ワイズドットコムメールについての協議があった。12月千葉クラブとの合同クリスマス例会では、小林信人船橋教会牧師に説教を依頼したことが報告された。守安久美子さんの閉会の言葉、高田会長の閉会点鐘で11月例会の幕を閉じた。



吉崎勇君による卓話

11月のデータ 会員8名
例会出席10名 (会員8名、ビジター2名)
出席率100%
ドライバー 7,000円 (累計 12,300円)

■自分紹介 ー長尾昌男君ー



1947年4月11日生まれ。(73歳)ワイズ歴24年

1966年東洋信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)に入社し、大阪支店証券代行部を経て、システム部門で、株主名簿管理人としての「証券代行システム」の開発・運用・保守に携わり49年間に様々の経験をする。1975年システム運用の変更(東京集中化)で胃潰瘍になり2か月間の入院。1998年新郵便番号制度対応のシステムの切り替えで、大晦日より2週間会社に寝泊まり。

1996年に千葉クラブへ入会。2000年千葉クラブ会長、2007年に関東東部会計、会員増強事業主査等の後、2017年に関東東部部長、2018年に新クラブ設立準備委員長(この間食道癌で抗がん剤治療)を経て、2020年10月3日に千葉ウエストクラブのチャーターに至る。

■東日本区第2回役員会から

11月7日にZoomにて開催された第2回役員会では、法人化準備委員会を設置し、来年6月の今年度の代議員会の決議を経て、法人化への移行を目指すことが承認された。法人化の問題は、2013年より検討されてきたが、紆余曲折を経て板村年度に具体化を目指す運びとなった。今般の法人化(一般社団法人)は、対外的知名度の向上や社会的信用度が増すことから緊急の課題である会員増強に結びつくことが期待されている。しかしながら、ワイズの法人化ということで、現状から何が変わってしまうのかと不安を抱く会員も多くいるのではないかと考えられる。クラブ運営は何ら変わらないといっても逆に、法人化することによって変わるのかを明確に示す必要があると思う。例えば、対外法人としての組織、役員構成、報告書類等。私としては、法人化への移行と言うより一般社団法人への登録と言った方が分かり易いかと考える。(高田)

■YMCAニュース

●冬季プログラム2020

- ・エンジョイスキーキャンプ(年末)
- ・それいけ!スノーレンジャー!(1月)
- ・大房岬ネイチャーキャンプ(A・B)(年末)

●3YMCA合同チャリティーラン

とちぎ・ぐんま・千葉Y合同のバーチャル・リアリティとして行われる、日常の「走る/歩く」を通しての参加 1月10日~2月10日(詳細はHPにて)

https://www.tochigiymca.org/society/charity_run/